

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2007年9月

ISO/TC61(プラスチック)/SC10(発泡プラスチック)の最近の動向

1. ISO/TC61/SC10の構成

ISO/TC61/SC10は、発泡プラスチック関係の規格の制定・改正等を担当する。

幹事国はカナダで、議長は現在不在であり、最近は、幹事のカナダが代行している。Pメンバー(投票権有)は、15カ国で、Oメンバー(オブザーバ)は、16カ国の参加があり、表1のように四つのWG(作業グループ)が活動している。

数年前までは、このSCは、幹事の要領が悪くプロジェクトの進捗が遅れていたが、最近は、順調にプロジェクトをこなしている。

表1 TC61/SC10のWG

| WG | メンバー | タイトル |
|-------|------|----------|
| WG 10 | カナダ | 断熱製品 |
| WG 11 | カナダ | 物理及び機械特性 |
| WG 12 | カナダ | 耐久性 |
| WG 13 | カナダ | 材料及び製品仕様 |

ここでは、2007年9月にインド・ゴアで開催される第56回TC61年次会議(以下ゴア会議)での主たる国際規格の制定・改正審議対象及び課題を、昨年横浜で開催された第55回TC61年次会議(以下横浜会議)からの進捗を含めWG(作業グループ)別に記述する。(規格の名称は一部省略して記載した。)

尚、国内の同SC委員会は、ウレタンフォーム工業会顧問(前専務理事) 菊池四郎様を主査とした8名の専門家より構成されている。

2. WG10(断熱製品)

(1)ISO 8873: Rigid cellular plastics -- Spray-applied polyurethane foam for thermal insulation of buildings -- Specification (硬質発泡プラスチックー建物断熱用吹付けポリウレタンフォームー仕様)

2003年のTC61年次国際会議で発泡剤としてノンフロンガスをこの規格に加えることを日本より提案し、この改正を行って来た。当初幹事の動きが悪く進捗が遅れたが、種々の手段により進捗を計り2006年の12月にやっと発行された。改正はこの規格を次のように3部に分割され発行され、ノンフロンガス発泡については、**ISO8873-1**で規定されている。

ISO 8873-1: Rigid cellular plastics -- Spray-applied polyurethane foam -- Part 1: Material specifications (硬質発泡プラスチックー断熱用吹付けポリウレタンフォームー第1部:材料仕様)

ISO 8873-2: 同上 -- Part 2: Application(ー第2部:施工)

ISO 8873-3: -- Part 3: Test methods (ー第3部:試験方法)

尚、今年の横浜会議では、**ISO 8873-2**及び**-3**についてはカナダ規格への整合化すべく改正提案がカナダよりありDIS投票の実施が議決された。投票の結果、同提案は承認されたが各国よりのコメントがあり、このコメント対応審議をゴア会議で行う。

(2)Systematic Review (定期見直し)

ISO 9774:04, Thermal insulation for building

applications -- Guidelines for selecting properties(建築用断熱ー特性選択のガイド)の見直し投票が行われ確認されているが、ゴア会議で再度審議の予定。

(3)TC163(断熱)/SC3(建築・産業用)との関係

以前より**TC163**より**TC61/SC10**の一部の断熱関係規格を移行して欲しいとの要望がある。今年の横浜会議でも議論され、否決の方向であったが、情報によると本年も再度、**SC10**ごと**TC163**に移行すべきとの要望がある模様。**TC163/SC3**の幹事も**SC10**の幹事も同一人物であり、同幹事にとっては好都合となる。一方日本では対応機関が移行することになることより、無機材料断熱製品の専門家での審議が中心となることより、反対とする予定である。

3. WG11(物理及び機械特性)及びWG12(耐久性)

(1) 状態調節条件の追加提案

このWGで取り扱う発泡プラスチック試験方法などの以下の規格では、試験片の状態調節条件(温度・湿度)が、ISO 291に規定する2級の条件を採用している。一方これら規格に対応したJISでは、JIS K 7100の3級条件を採用し、これらJISは、JIS認定工場を初めとして広範に使用されている。そこで、これらISO規格の試験片状態調節条件にJIS K 7100の3級の条件を追加することを昨年の横浜会議で提案し、詳細なデータを基にその根拠を説明したせいか、ISO 1663(既に発行段階の改正中のため)を除き、要望する全てがFDIS投票からの改正が議決され、日本にとって有益な進捗であった。

ISO 844、Rigid cellular plastics -- Determination of compression properties (圧縮特性の測定方法)

ISO 845、Cellular plastics and rubbers –

Determination of apparent (bulk) density(見掛け(かさ)密度の測定方法)

ISO 1209-1、Rigid cellular plastics -- Determination of flexural properties -- Part 1: Basic bending test (基本曲げ試験)

ISO 1209-2、Rigid cellular plastics -- Determination of flexural properties -- Part 2: Determination of flexural strength and apparent flexural modulus of elasticity(曲げ強さの測定及び見掛け曲げ弾性率)

ISO 1663、Rigid cellular plastics -- Determination of water vapour transmission properties(水蒸気透過率の測定方法)

その他、改正文書作成中の以下3件にもこの提案が承認され、この条件が付け加えられたものが発行された。

ISO 20392、Rigid cellular plastics -- Determination of compressive creep (圧縮クリープの求め方)

ISO 20393、Rigid cellular plastics -- Determination of long-term water absorption by diffusion (拡散による長期吸水量の求め方)

ISO 20394、Rigid cellular plastics -- Determination of freeze-thaw resistance (凍結溶解抵抗の求め方)
ゴア会議では、残るISO 1663の同様な改正を提案する。

4. WG13(材料及び製品仕様)

FDIS7214、Cellular plastics -- Polyethylene –

Methods of test(発泡プラスチック—ポリエチレン—試験方法)

横浜会議の議決によりFDIS投票が行われ、承認され発行された。

ゴア会議では以前より提案され未進捗である以下3件のNWIP(新規提案)の審議が行われる予定。

- Polyethylene foam – Pipes and profiles
- Polyethylene foam – Thin materials
- Polyolefin foam

(以上)